

地方都市での陽性者の検査・予防サービスの接点に関する調査

研究代表者：金子典代（名古屋市立大学大学院看護学研究科 准教授）
研究協力者：健山正男（琉球大学大学院医学研究科）、宮城京子（琉球大学医学部附属病院）、
和田秀穂（川崎医科大学）、
高久陽介（日本 HIV 陽性者ネットワーク・ジャンププラス）、
高田清式（愛媛大学医学部）、伊藤俊広（仙台医療センター）、
山本政弘（九州医療センター）

研究要旨

地方都市に居住する HIV 陽性者の感染判明前の検査行動、医療機関の利用、予防介入との接触、
ゲイ向け商業施設の利用状況、性行動については明らかになっていない点が多い。

本研究では、沖縄、中四国に居住し、地域の拠点病院に通院する過去 5 年に HIV 陽性が判明したものを対象とした。急性感染症状の有無と医療機関の受診、陽性判明前の性感染症罹患時の医療機関受診、検査行動、性行動、商業施設利用や啓発資材との接触を明らかにすることを目的とした。拠点病院に通院する陽性者の診断年はさまざまであるため、共同研究者が診療に従事する病院に通院する平成 25 年 1 月以降に HIV 感染が判明した男性に限定して実施した。質問紙は、拠点病院の医療者・看護職から説明、参加協力を依頼し、同意を得られた対象者から郵送にて回収を行う方法を採用した。中四国、九州ブロックにおけるエイズ治療の拠点病院に通院する陽性者へ質問紙を配布し、急性感染期に医療機関を受診したが、HIV 検査を勧められた割合は 3 割にとどまり、性感染症の罹患時に HIV 検査を勧められたのは 40% しかないことが示された。陽性判明前に検査を受検しなかったものの未受検理由は、「結果を知るのが怖かった」「感染している可能性がないと思った」が最も多かった。陽性判明前 1 年間の商業施設利用は、ゲイバーよりもハッテン場、その場限りの性交渉の相手との出会いの場もハッテン場が多いことが示された。

A. 研究目的

我が国の HIV と AIDS の総報告数は、都市部の感染拡大抑制により横ばいに転じてきている。しかし地方都市では、都市部と比較して、AIDS を発症して感染が判明する患者が多く感染者も減っていない。この事態の背景には、地方都市では検査を受けていない感染リスク層が多いことが考えられる。より効果的な HIV 感染者の早期発見や感染リスク層への検査行動の促進を考えるにあたっては、HIV 陽性者の感染判明前の検査機会や検査行動をとりにくかった理由、またどのような商業施設を利用していたのかを明らかにすることはきわめて重要となる。しかし、地方都市に居住する HIV 陽性者の感染判明前の検査行動、医療機関の利用、予防介入との接触、ゲイ向け商業施設の利用状況、性行動については明らかになっていない点が多い。

本研究では、沖縄、九州、中四国、東北地

域の地方都市に居住する過去 5 年に HIV 陽性が判明したものにおける陽性判明前の検査行動、性行動および予防サービスの接点を明らかにすることを目的とする。

必要性・意義：AIDS 患者割合が多い地方都市において HIV 検査行動の促進と予防行動の推進は急務となっている。地方都市では、エイズ予防に充てる予算や人的資源が限られており、今までにまして効果・効率の良いプログラム考案が求められている。HIV 感染者の早期発見に資する効果的な検査勧奨、予防行動プログラムの考案には、近年に感染が判明した陽性者から得られる情報はきわめて重要である。

B. 研究方法

中四国、九州ブロックのエイズ診療拠点病院に通院する HIV 陽性者を対象に、横断型自記式質問紙調査を実施し、感染判明前の検査、

医療機関の利用、予防啓発との接点を把握する。

本質問紙調査は、HIV 患者が通院する共同研究者が診療に従事する HIV 診療拠点病院において実施する。対象となる患者には、HIV 診療経験が豊富な医師・医療保健専門職が通院患者に質問紙を手渡しし、調査目的、参加条件を説明し、回答を依頼する。回答した質問紙は、封筒に本人に厳封してもらい、会場内に設置した鍵付き回収箱にて回収し、名古屋市立大学に郵送する。ただし、本人が質問紙を記載するスペースがない施設については、自宅で記入し、各自回答済み質問紙のポストへの投函を依頼する。

本研究は名古屋市立大学看護学部研究倫理審査委員会、川崎医科大学、琉球大学医学系研究科に設置された倫理審査委員会により承認を得た。

拠点病院に通院する陽性者の診断年はさまざまであり、病歴が長い陽性者からの陽性判明前の状況の記憶はバイアスがある可能性が指摘された。そのため、共同研究者が診療に従事する病院に通院する平成 25 年 1 月以降に HIV 感染が判明した男性に限定することとした。調査項目は、陽性判明前の性行動、急性感染の症状の認知、検査行動を含むものとした（資料 1）。

2019 年 12 月末まで回収を行った。本報告では MSM に限定し、琉球大学からの 31 名、川崎医大を拠点に収集した 22 名の有効回答の分析を実施した。

C. 結果

回答者の基本属性、感染判明のきっかけ、感染判明前の知識、感染可能性の認識、医療機関へのアクセスについて表 1 の通りまとめた。

年齢層は幅広く分布しており、セクシュアリティはゲイが 69.8%、バイセクシュアルが 28.3%であった。感染したと思われるパートナーはその場限りのパートナーが 66.0%と最も多かった。

最初に HIV 陽性の告知を受けた機関は、病院、クリニックが 71.7%と最も多かった。感染したと思われる時期に、急性期の症状があったものが 52.8%と過半数を占めた。また症状をきっかけに医療機関を受診したものが 28 名中、25 名いた。しかしその際、HIV 検査を勧められたものは 8 名と 32%しかいなかった。また陽性判明前に HIV 検査を受検したことがあるものは 34%にとどまった。

感染が判明した検査受検のきっかけは気になる症状や体調不良が沖縄、中四国ともに

最も多かった。中四国の方が HIV 検査以外の病気や術前検査を契機としているものが多かった。

陽性判明時の診断については、沖縄の方が AIDS の割合が高かった。急性期症状については、沖縄、中四国とも過半数が「あった」と回答し、また 8 割以上が受診をしていた。

陽性判明前の HIV 感染症の基礎知識（感染源、感染行為、コンドーム予防効果）については 8 割以上が認識していた。

感染する可能性については、40-50%がまさか感染するとは思っていなかったと回答していた。

治療による延命効果や医療費補助制度については、基礎知識と比べて認知が低かった。

HIV 検査の感染判明前の受検経験は沖縄の方が高かった。しかし、受検者における直近検査については過去 1 年以上前のものが多かった。また検査未受検理由は「結果を知るのが怖かった」「感染している可能性がないと思った」がいずれの地域でも高かった。陽性判明前に罹患した STD としては梅毒が最も多かった。STD の診断を受けて HIV 検査を勧められたのは 40%しかいなかった。

陽性判明前のパートナーとの出会いの場は沖縄は出会い系サイト、有料のサウナ・ハッテン場が多く、中四国では、有料のサウナ・ハッテン場、その次がアプリと続いた。

D. 考察

本研究では、地方都市での検査アクセス、陽性判明前の性行動、急性感染に関する症状の認知を明らかにすることで、どこに今後予防介入のアプローチをかけていくかの基礎資料となる。陽性が判明した検査の理由は、体調不良が最多であった。判明前に検査行動がなかったものの未受検理由は、「結果を知るのが怖かった」が最多であり、感染のリスクを知らながらも恐怖感により受検ができていない可能性が示唆された。また、アナルセックスの感染リスクといったベーシックな知識はあるが、治療薬の進歩や医療費助成など新しい知識は浸透していないこと、急性期に受診しているのに、その 3 割しか HIV 検査を勧められていないことが示された。

何らかの性感染症の罹患歴があるが、罹患者においても HIV 検査を勧められたのは 40%にも満たない。感染判明前 1 年間に利用した施設としては、有料ハッテン場、野外ハッテン場が高く、有料ハッテン場はハイリスク層へのアプローチとして、重要な啓発の場であることが示唆された。

E. 結論

総計 53 件の MSM の有効回答について分析を実施した。予防啓発をより効果的にするための意見など質的データを含むデータを収集し地域別に分析した。沖縄県、中四国と比較すると感染判明前の HIV 検査受検や出会いの場については差があるものの、いずれの地域でも急性感染期に医療機関を受診したが、HIV 検査を勧められた割合は3割にとどまり、性感染症の罹患歴があるが、罹患者においても HIV 検査を勧められたのは40%しかないことが示された。

F. 研究発表

1. 論文発表

- 1) ○金子典代, 塩野徳史, 本間隆之, 岩橋恒太, 健山正男, 市川誠一: 地方都市在住の MSM (Men who have sex with men) における調査時点までと過去1年の HIV 検査経験と関連要因. 日本エイズ学会誌, 2019, 21(1), 34-44.
- 2) ○塩野徳史, 市川誠一, 金子典代, 佐々木由理: 都市部保健所における HIV 抗体検査受検者の特性. 厚生学の指標, 2018, 65(5) 35-42.
- 3) Kaori Nagai, Akiko M. Saito, Toshiki I. Saito, Noriyo Kaneko: Reporting quality of randomized controlled trials in patients with HIV on antiretroviral therapy: a systematic review. *Trials*, Dec 28;18(1): 625. DOI 10.1186/s13063-017-2360-2
- 4) Kang KA, Kim SJ, Kaneko N: Factors influencing behavioral intention to undergo Papanicolaou testing in early adulthood: Comparison of Japanese and Korean women. *Nurs Health Sci*. 2017 Dec;19(4):475-484.
- 5) 寺尾亮平, 金子典代, 樋口倫代: 養護教諭における中学生・高校生からのネット上のいじめの相談を受けた経験とその関連要因. 学校保健研究, 2017, 9(4): 288-294.
- 6) Kang, Kyung-Ah & Kim, Shing-Jeong & Noriyo, Kaneko & Cho, Haeryun & Lim, Young-Sook. (2017). A Prediction of Behavioral Intention on Pap Screening Test in College Women: A Path Model. *Journal of Korean Public Health Nursing*. 31. 135-148. 10. 5932 / JKPHN. 2017. 31. 1. 135.

2. 学会発表 (国内)

- 1) ○金子典代: MSM における HIV 検査受検、定期検査受検のハードルを下げるための試み. 日本エイズ学会シンポジウム、第33回日本エイズ学会学術集会・総会、熊本、2019.
- 2) ○金子典代: MSM に対する検査提供と予防介入の実践と変遷. シンポジウム4、第33回日本エイズ学会学術集会・総会、熊本、2019.
- 3) 高橋良介、石田敏彦、藤浦裕二、岩崎 誠、今橋真弓、金子典代: 東海地域におけるゲイ・バイセクシュアル男性を対象とした性感染症検査会の NGO による広報とその効果. 第33回日本エイズ学会学術集会・総会、熊本、2019.
- 4) ○金子典代、太田 貴、荒木 順、岩橋恒太、石田敏彦、宮田りりい、塩野徳史、玉城祐貴: コミュニティセンター来場者におけるセンターでの情報入手や相談経験、HIV 検査行動、新しい知識の浸透. 第33回日本エイズ学会学術集会・総会、熊本、2019.
- 5) ○岩橋恒太、金子典代、高野 操、岡 慎一、本間隆之、健山正男、玉城祐貴、市川誠一、荒木 順、木南拓也、生島 嗣、佐藤郁夫、福原寿弥、林田庸総、中山保世、小日向弘雄、今村顕史: MSM を対象とした郵送検査キット用いた HIV 検査「HIVcheck.jp」のベニューの拡大の試行. 第33回日本エイズ学会学術集会・総会、熊本、2019.
- 6) 宮田りりい、塩野徳史、金子典代: MSM (Men who have sex with men) に包摂される女装者たちの性行動や HIV 感染症に対する意識. 第33回日本エイズ学会学術集会・総会、熊本、2019.
- 7) Michiko Takaku, Myagmardorj Dorjgotov, Erdenetuya Gombo, Nyampurev Galsanjants, Davaalkham Jagdagsuren, Seiichi Ichikawa, Satoshi Shiono, Noriyo Kaneko, Shinichi Oka: Studies evaluating NGOs' HIV prevention interventions targeting MSM community in Mongolia: Results of the internet surveys in FY 2013, 2014, 2017 and 2018. The 33rd Annual Meeting of the Japanese Society for AIDS Research, Kumamoto, 2019.
- 8) ○林田庸総、柏木恵莉、土屋亮人、高野操、青木孝弘、瀧永博之、菊池 嘉、岩橋恒太、金子典代、岡 慎一: 乾燥ろ紙血を用いた HIV Ag/Ab 郵送検査の性質についての検討. 第33回日本エイズ学会学術集会・総会、熊本、2019.
- 9) 岩橋恒太、金子典代、荒木 順、木南拓

- 也、鈴木敦大、堅多敦子、今村顕史：MSM を対象とする、2018 年の A 型肝炎の拡大の注意喚起に関する効果評価調査. 第 33 回日本エイズ学会学術集会・総会、熊本、2019.
- 10) 今村顕史、堅多敦子、岩橋恒太、荒木 順、金子典代、生島 嗣、西浦 博、齋藤涼平：MSM における A 型肝炎流行への対策と効果についての検討. 第 33 回日本エイズ学会学術集会・総会、熊本、2019.
- 11) 金子典代：MSM に対する支援 何が必要か. シンポジウム 1、第 68 回日本感染症学会東日本地方会学術集会・第 66 回日本化学療法学会東日本支部総会合同学会、仙台、2019.
- 12) ○林田庸総、土屋亮人、高野 操、青木孝弘、瀧永博之、菊地 嘉、岩橋恒太、金子典代、岡 慎一：乾燥ろ紙血を用いた HIV Ag/Ab 検査についての検討. 第 32 回日本エイズ学会学術集会・総会、大阪、2018.
- 13) ○本間隆之、岩橋恒太、金子典代、高久道子、荒木順子、木南拓也、阿部甚平、藤原孝大：MSM 向けクラブイベント来場者における HIV 検査未受検者の特性. 第 32 回日本エイズ学会学術集会・総会、大阪、2018.
- 14) 椎野禎一郎、蜂谷敦子、今橋真弓、松田昌和、岩谷靖雅、横幕能行、金子典代、羽柴知恵子、吉村和久：国内伝播クラスタの検索プログラムの開発 2：東海地方で若年層に急速に伝播を広げるクラスタの検出. 第 32 回日本エイズ学会学術集会・総会、大阪、2018.
- 15) ○荒木順子、金子典代、木南拓也、藤原孝大、阿部甚兵、岩橋恒太、高久道子、本間隆之：akta 来場者における来場経験別の来場目的、HIV 検査行動、性行動、陽性者の身近さ. 第 32 回日本エイズ学会学術集会・総会、大阪、2018.
- 16) 今橋真弓、金子典代、椎野禎一郎、松田昌和、蜂谷敦子、岩谷靖雅、横幕能行、羽柴知恵子：名古屋医療センターにおける 2009～2016 年未治療初診患者の後方視的生存率検討. 第 32 回日本エイズ学会学術集会・総会、大阪、2018.
- 17) ○和田秀穂、塩野徳史、徳永博俊、竹内麻子、健山正男、市川誠一、金子典代：中国四国地方におけるより感染リスクの高い MSM 層の実態把握と HIV 抗体検査受検経験に関するコミュニティアンケート調査. 第 32 回日本エイズ学会学術集会・総会、大阪、2018.
- 18) ○岩橋恒太、金子典代、高野操、岡慎一、本間隆之、健山正男、市川誠一、荒木順子、木南拓也、高久道子、生島嗣、佐藤郁夫、福原寿弥、林田庸総、中山保世、小日向弘雄、今村顕史：MSM を対象とする、郵送検査手法を用いた新たな HIV 検査機会としての「HIVcheck.jp」の取り組み. 第 32 回日本エイズ学会学術集会・総会、大阪、2018.
- 19) Takaku M, Dorjgotov M, Gombo E, Galsanjamts N, Jagdagsuren D, Ichikawa S, Shiono S, Kaneko N, Oka S: Studies on NGOs' HIV prevention interventions targeting MSM community in Mongolia 2017: The 32nd Annual Meeting of the Japanese Society for AIDS Research, Osaka, 2018.
- 20) Takaku Michiko, Dorjgotov Myagmardorj, Gombo Erdenetuya, Galsanjamts Nyampurev, Jagdagsuren Davaakkham, Ichikawa Seiichi, Shiono Satoshi, Kaneko Noriyo, Oka Shinichi: Studies on NGOs' HIV prevention interventions targeting MSM community in Mongolia, 第 31 回日本エイズ学会学術集会・総会、東京、2017.
- 21) 高久道子、市川誠一、金子典代、岩木エリーザ：多言語インターネット調査システムの開発と MSM を含む外国国籍者を対象とする調査. 第 31 回日本エイズ学会学術集会・総会、東京、2017.
- 22) ○木南拓也、本間隆之、岩橋恒太、荒木順子、佐久間久弘、大島岳、金子典代、市川誠一：コミュニティセンター akta を起点とするアウトリーチ活動の効果評価. 第 31 回日本エイズ学会学術集会・総会、東京、2017.
- 23) ○荒木順子、金子典代、木南拓也、岩橋恒太、佐久間久弘、阿部甚平、大島岳、太田貴、石田敏彦、塩野徳史、新山賢、金城健、本間隆之、市川誠一：akta で展開したセーフターセックスキャンペーンとコミュニティベース調査による効果評価. 第 31 回日本エイズ学会学術集会・総会、東京、2017.
3. 学会発表 (国外)
- 1) ○Kota Iwahashi, Noriyo Kaneko, Misao Takano, Shinichi Oka, Takayuki Honma, Masao Tateyama, Seiichi Ichikawa, Jun Araki, Takuya Kinami, Yuzuru Ikushima, Ikuo Sato, Toshiya Fukuhara, Tsunefusa Hayashida, Nakayama Yasuyo, Hiroo Obinata, Akifumi Imamura: Dry Blood Spot-Based HIV Testing 'HIVcheck.jp' is a New Testing Opportunity for Men who have Sex with Men in Tokyo, Japan. FAST-TRACK CITIES 2019, LONDON, September, 2019.

- 2) Kinami T, Fujiwara K, Suzuki A, Abe J, Araki J, Iwahashi K, Kaneko N, Honma T: The Outreach Programme “Delivery Health Project” as the Best Practice of HIV Prevention for MSM in Tokyo Japan. FAST-TRACK CITIES 2019, LONDON, September, 2019.
- 3) Ryohei Terao, Noriyo Kaneko, Michiyo Higuchi : Survey of school nurses’ experiences providing counseling on sexual orientation to junior and senior high school students in Japan, The 49th Asia-Pacific Academic Consortium for Public Health Conference, Korea, 2017.

G. 知的財産権の出願・登録状況（予定を含む）

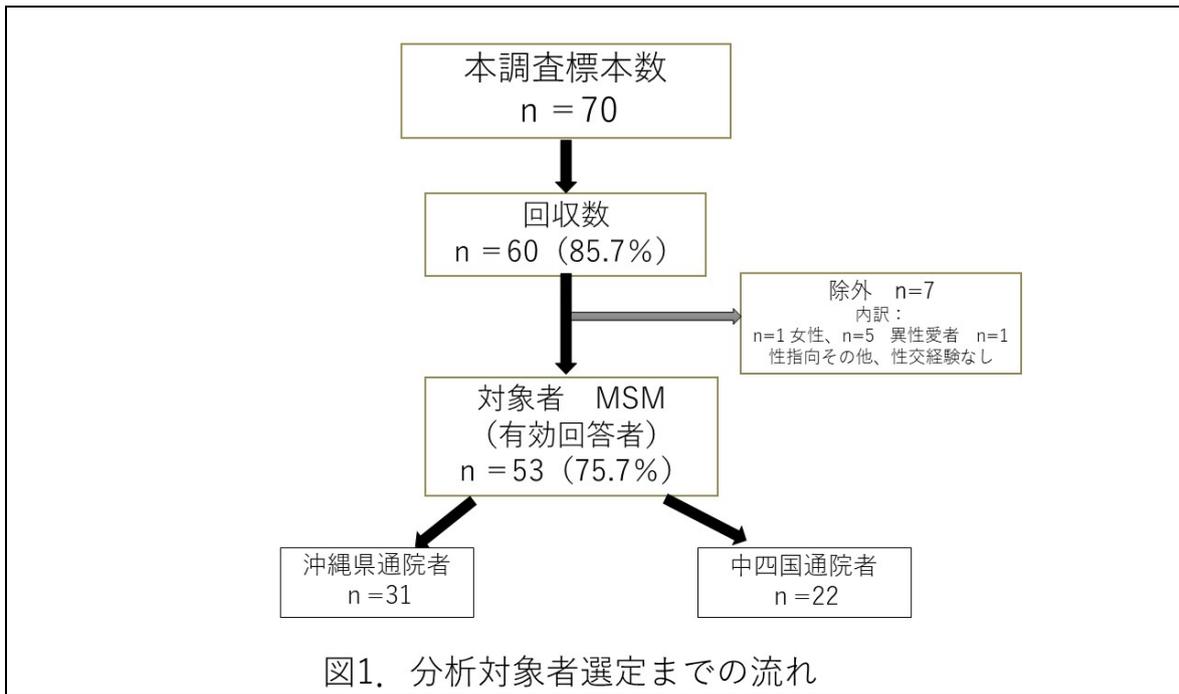
1. 特許取得
無し
2. 実用新案登録
無し
3. その他
無し

表1 対象者の回答

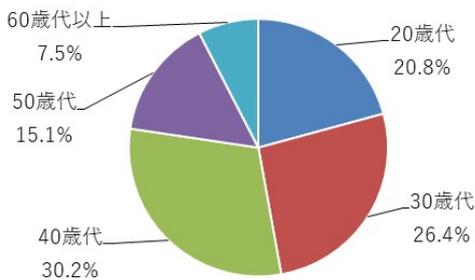
	N	%		N	%
年齢			HIVに感染したとき、HIVの急性期の症状はありましたか？		
20歳代	11	20.8	あった	28	52.8
30歳代	14	26.4	ない	8	15.1
40歳代	16	30.2	覚えていない	17	32.1
50歳代	8	15.1			
60歳代以上	4	7.5			
配布地域			*急性期症状有28名対象		
沖縄	22	41.5	急性期症状をきっかけに医療機関は受診したか？		
中四国	31	58.5	受診した	25	47.2
			受診していない	3	5.7
セクシュアリティ			*受診した25名対象		
男性同性愛者（ゲイ）	37	69.8	急性期で受診した医療機関では、HIV検査を勧められたか？		
両性愛者（バイセクシュアル）	15	28.3	勧められ、受けた	7	13.2
その他	1	1.9	勧められたが受けなかった	1	1.9
			勧められなかった	17	32.1
職業			陽性判明前、HIV検査受検経験		
公務員、会社員（正規雇用）	25	47.2	あった	18	34.0
パート・アルバイト・契約社員	12	22.6	なかった	35	66.0
自営業・自由業・経営	12	22.6			
現在は働いていない	3	5.7	*検査経験者18名のみ対象		
その他	1	1.9	最後のHIV検査はいつか？		
考えられる感染経路			半年前-1年前	4	22.2
同性間の性交渉	50	94.3	1年以上前	5	27.8
異性間の性交渉	2	3.8	2年以上前	9	50.0
薬物の使用・回し打ち	1	1.9			
感染したと考えられるパートナー			HIV陽性判明前に罹患した性感染症や関連症状（複数回答）		
特定の相手（彼氏、恋人）	6	11.3	梅毒	18	34.0
知り合いだが特定ではない相手（セックスフレンドなど）	8	15.1	尖圭コンジローマ	12	22.6
その場限りのパートナー	35	66.0	A型肝炎	1	1.9
わからない	4	7.5	B型肝炎	8	15.1
			C型肝炎	1	1.9
最初にHIV陽性の告知を受けた機関			クラミジア感染症	2	3.8
病院	32	60.4	淋病	7	13.2
医院・クリニック	6	11.3	赤痢アメーバ	4	7.5
保健所・保健センター	13	24.5	帯状疱疹	11	20.8
郵送検査・自己検査	2	3.8	繰り返す口内炎	6	11.3
HIV陽性が判明した際、医師から受けた診断はどれですか？					
HIVキャリアー（エイズ未発症）	30	56.6			
AIDS（エイズを発症）	20	37.7			
無回答	3	5.7			
HIV陽性判明時 CD4陽性Tリンパ球数					
200個未満	22	41.5			
200個－500個未満	14	26.4			
500個以上	6	11.3			
覚えていない	11	20.8			

	N	%
陽性判明前のその場限りの相手との出会い場所		
9monstersなど位置情報が必要なアプリ	28	53.8
出会い系サイト	24	46.2
Twitter・LINEなどのSNS	3	5.8
ゲイバー	5	9.6
有料のサウナ・ハッテン場	32	61.5
野外ハッテン場（公園、海岸、トイレ）	22	42.3
ハッテン場で有名な銭湯・プールなどの施設	9	17.3
陽性が判明する前の1年間、ゲイバー利用頻度		
よく利用した	1	2.2
まあ 利用した	10	21.7
あまり利用しなかった（半年に2回以下）	17	37.0
全く利用しなかった	18	39.1
陽性が判明する前の1年間、ゲイナイト利用頻度		
よく利用した		
まあ 利用した	4	8.9
あまり利用しなかった（半年に2回以下）	9	20.0
全く利用しなかった	32	71.1
陽性が判明する前の1年間、有料のハッテン場の利用頻度		
よく利用した	2	3.9
まあ 利用した	19	37.3
あまり利用しなかった（半年に2回以下）	15	29.4
全く利用しなかった	15	29.4
陽性が判明する前の1年間、野外のハッテン場の利用頻度		
よく利用した	4	8.0
まあ 利用した	15	30.0
あまり利用しなかった（半年に2回以下）	7	14.0
全く利用しなかった	24	48.0
陽性判明前1年間の性交時の薬物・ぼつき薬使用		
使用無し	32	60.4
使用あり	21	39.6

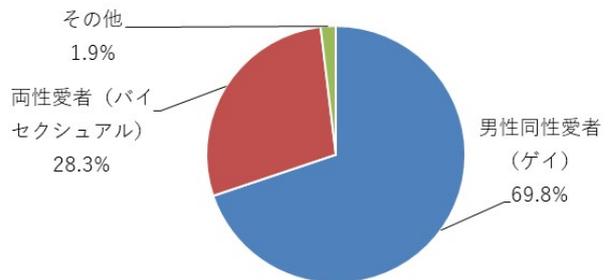
	N	%
いずれかのコミュニティセンターの認知		
すべて知らない	31	58.5
行ったことあり	4	7.5
知っていたが行っていない	18	34.0
全国のセンターやNGOが発行する資材		
ペーパー認知無し	39	73.6
ペーパー認知あり	12	22.6
無回答	2	3.8
HIVに感染していても、治療薬の延命効果認知		
知っていた	26	49.1
知らなかった	27	50.9
HIV治療費の医療費補助制度の認知		
知っていた	17	32.1
知らなかった	36	67.9



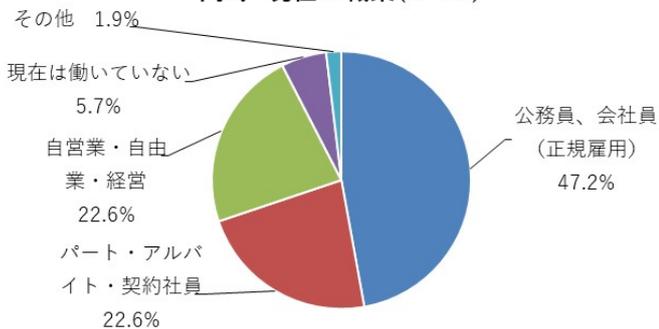
問1. 年齢(n=53)



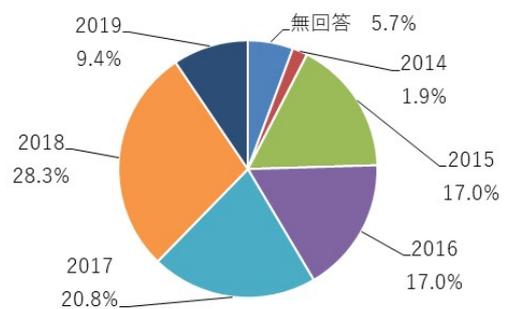
問4. セクシュアリティ(n=53)



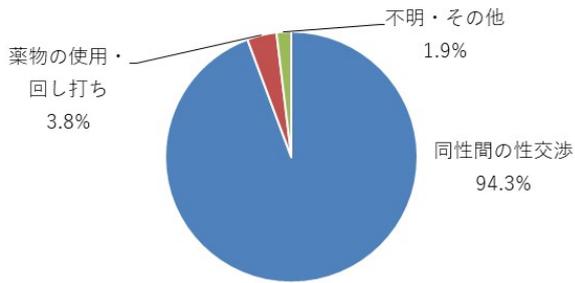
問5. 現在の職業(n=53)



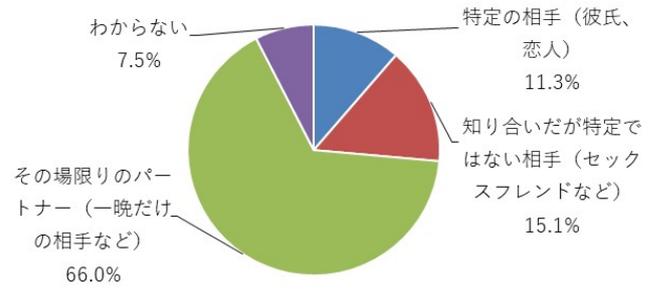
問6. 陽性診断を受けた年(n=53)



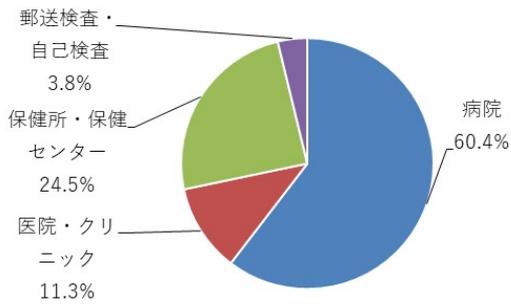
問7. 感染が考えられる行為(n=53)



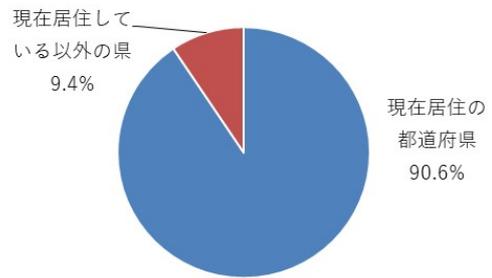
問8. 感染したと思われるパートナー(n=53)



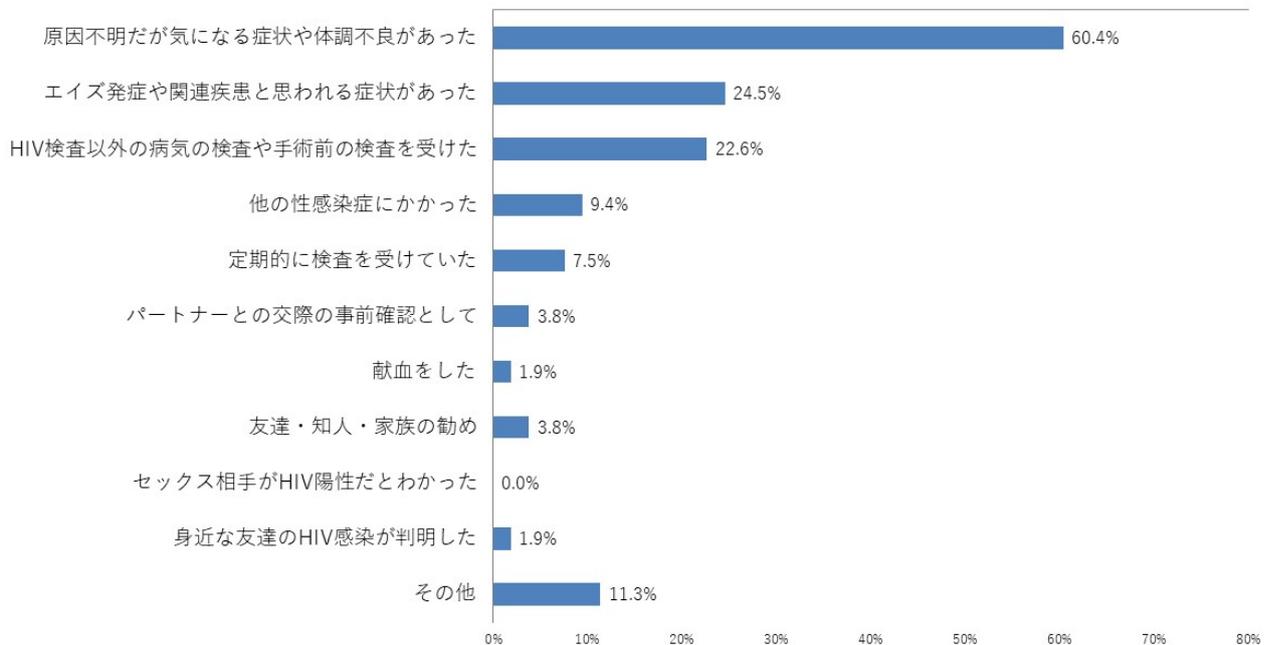
問9. 陽性の告知を受けた機関(n=53)



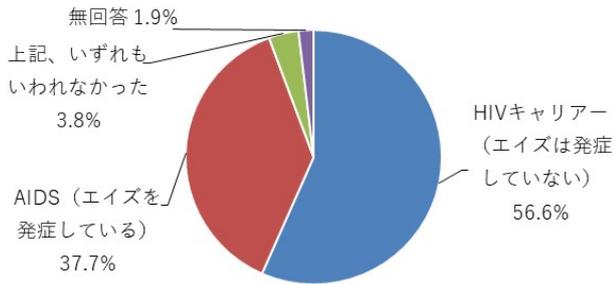
問10. 陽性判明検査を受けた都道府県(n=53)



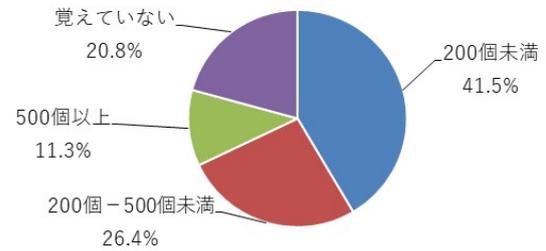
問11. 受検のきっかけ (複数回答) (n=53)



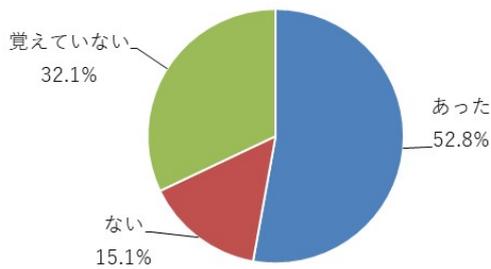
問12. 陽性判明時の診断(n=53)



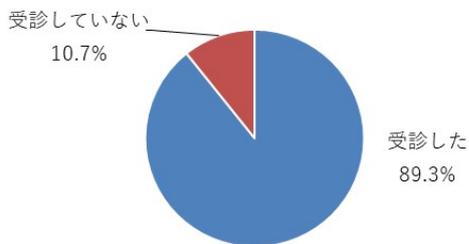
問13. 陽性判明時のCD4陽性Tリンパ球数 (n=53)



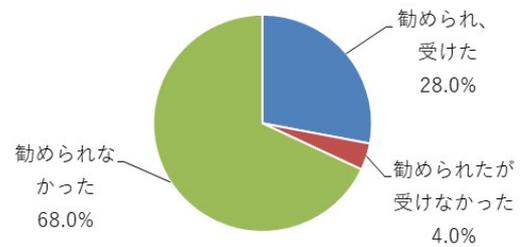
問14. HIVの急性期症状の有無(n=53)



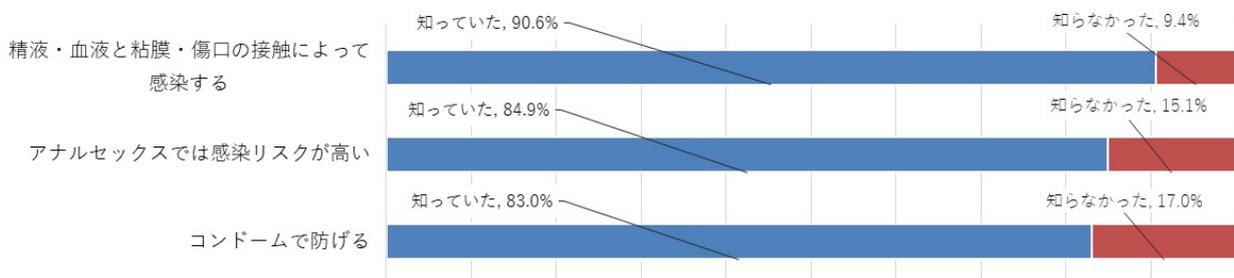
問14-1. 急性期症状をきっかけに受診したか (n=28)



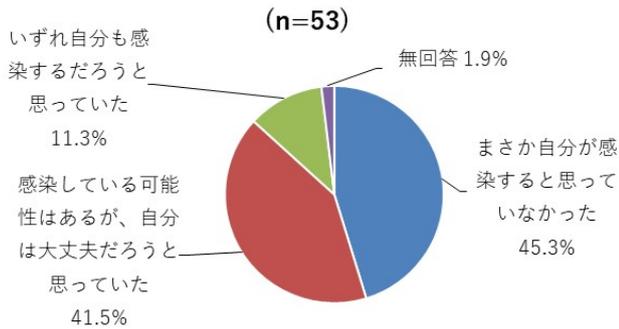
問14-2. 急性期症状による受診時にHIV検査を勧められたか(n=25)



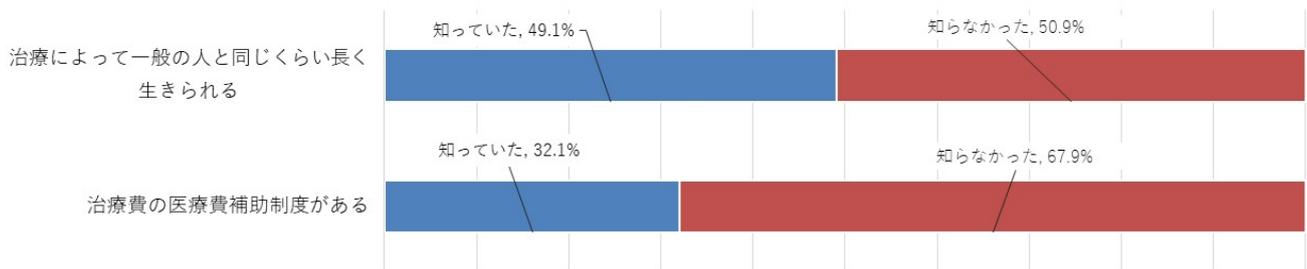
問15. 陽性判明前のHIV感染症の情報認知度(n=53)



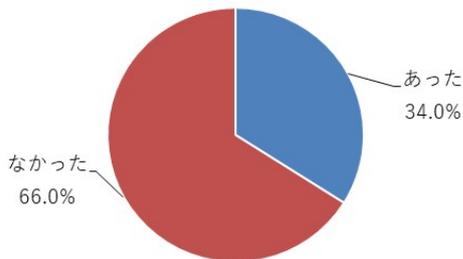
問16. 感染する可能性をどう思っていたか



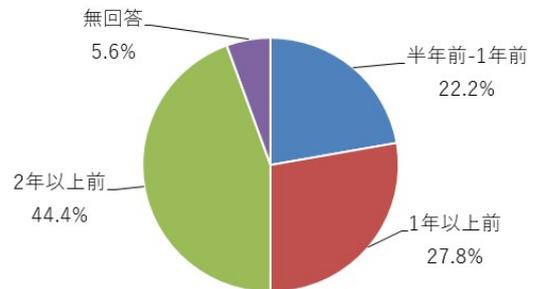
問18. 陽性判明前のHIV治療の情報認知度(n=53)



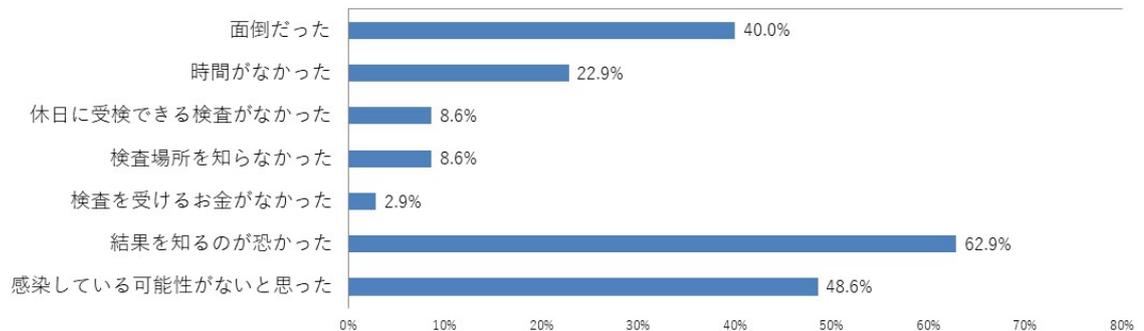
問19. 陽性判明前の受検経験(n=53)



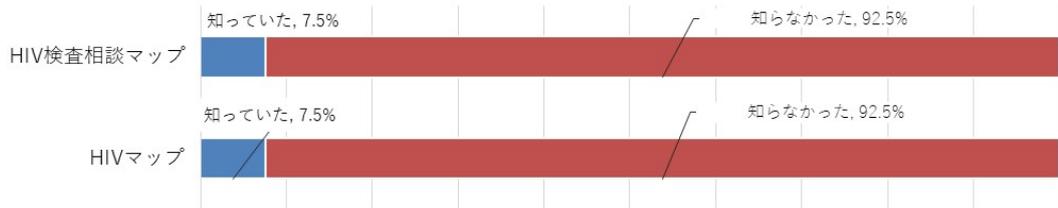
問20. 陽性判明前の最終受検時期(n=18)



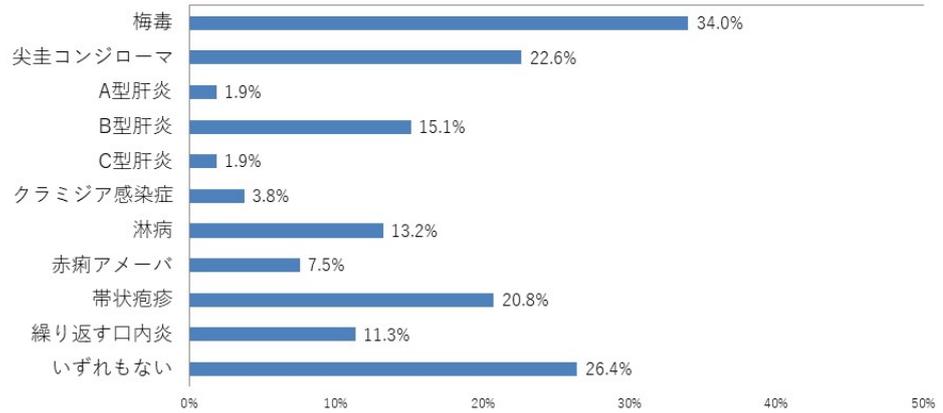
問21. 受検しなかった理由 (複数回答) (n=35)



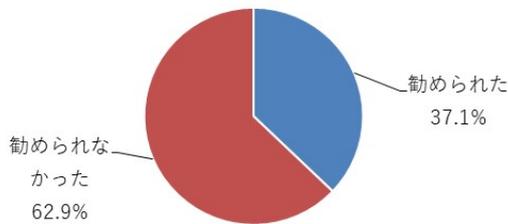
問22. 陽性判明前のサイト認知度(n=53)



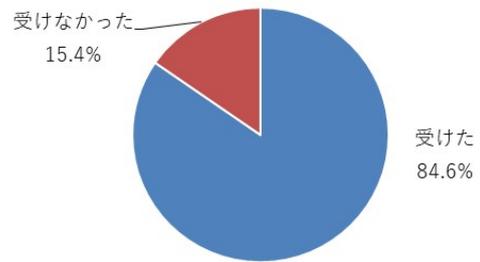
問23. 陽性判明前の疾患罹患歴（複数回答）(n=53)



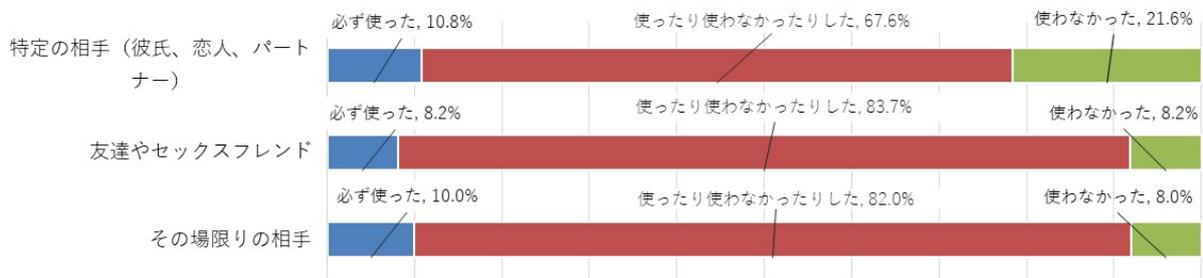
問23-1. 性病罹患による受診時にHIV検査を勧められたか(n=35)



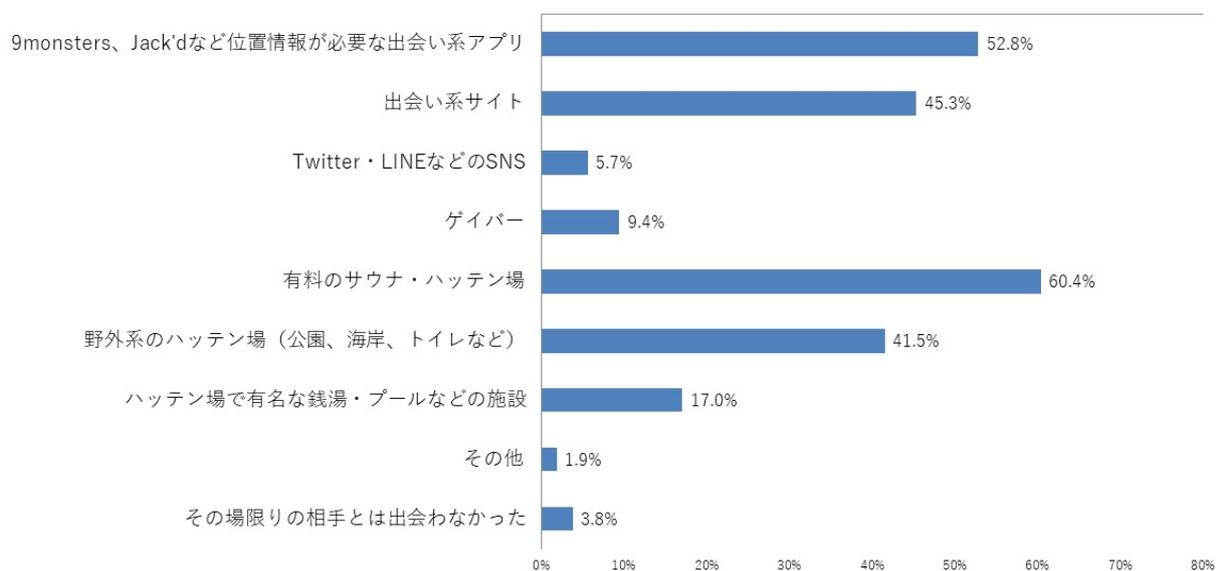
問23-2. 勧められた検査を受けたか(n=13)



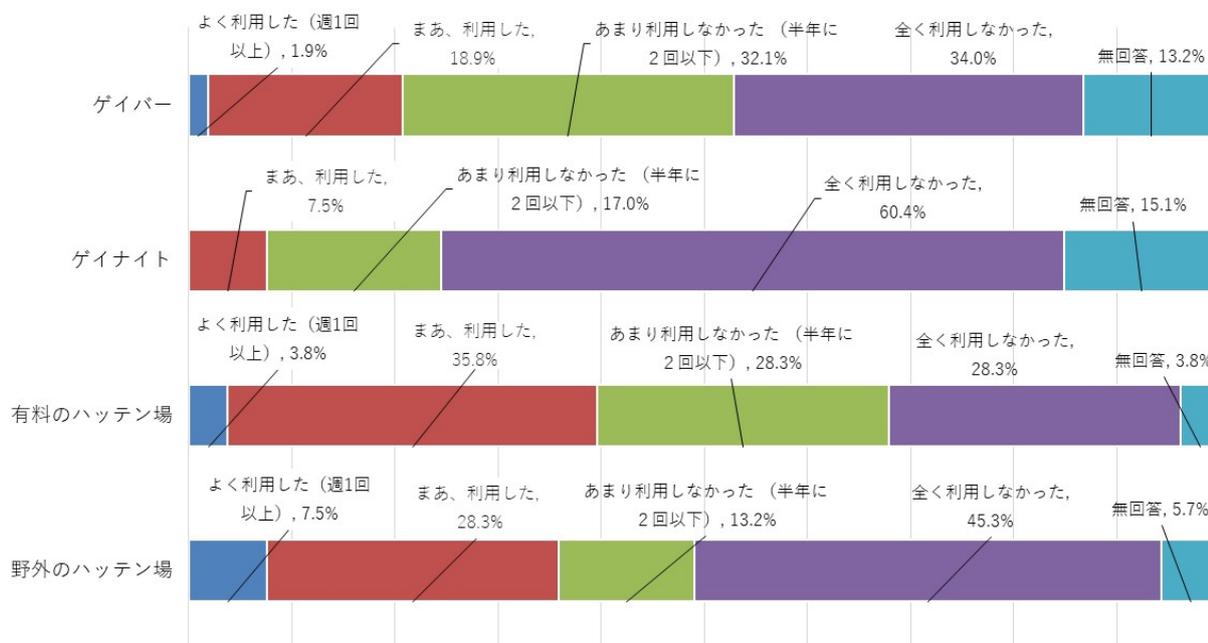
問24～26. 陽性判明前1年間のコンドーム使用頻度



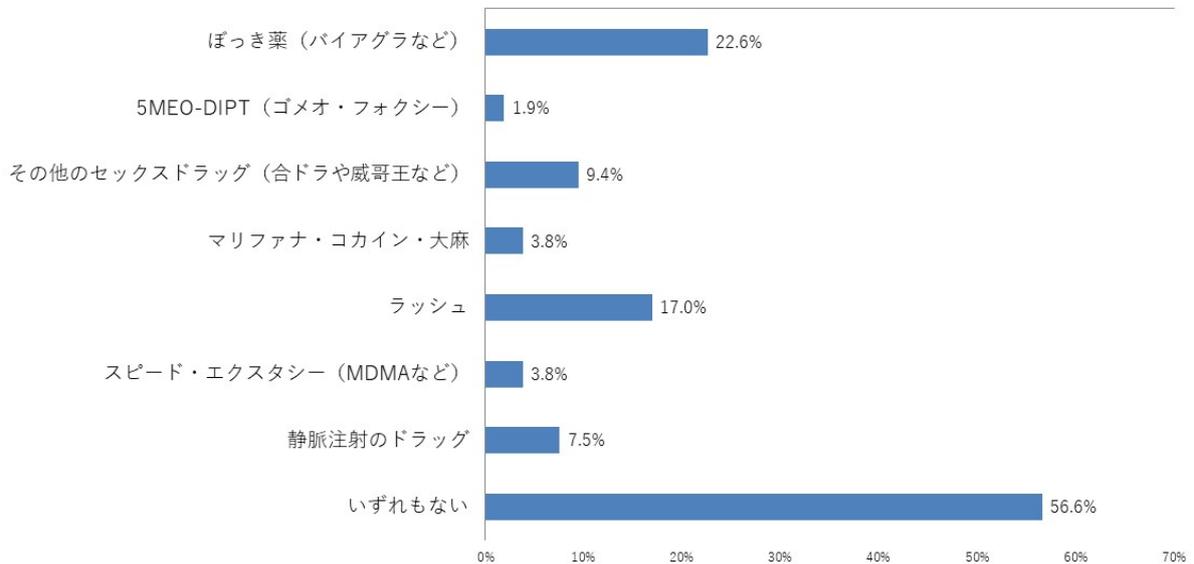
問27. 陽性判明前のその場限りの相手との出会い場所（複数回答）（n=53）



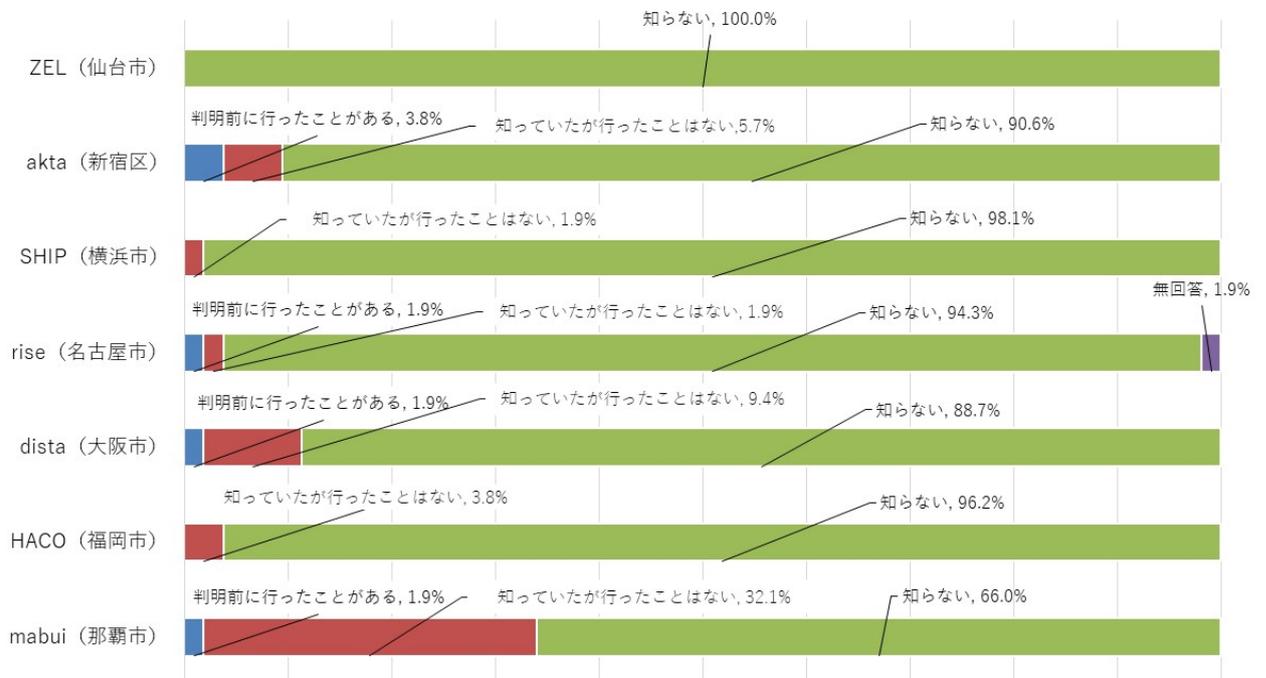
問28. 陽性判明前1年間の施設利用状況（n=53）



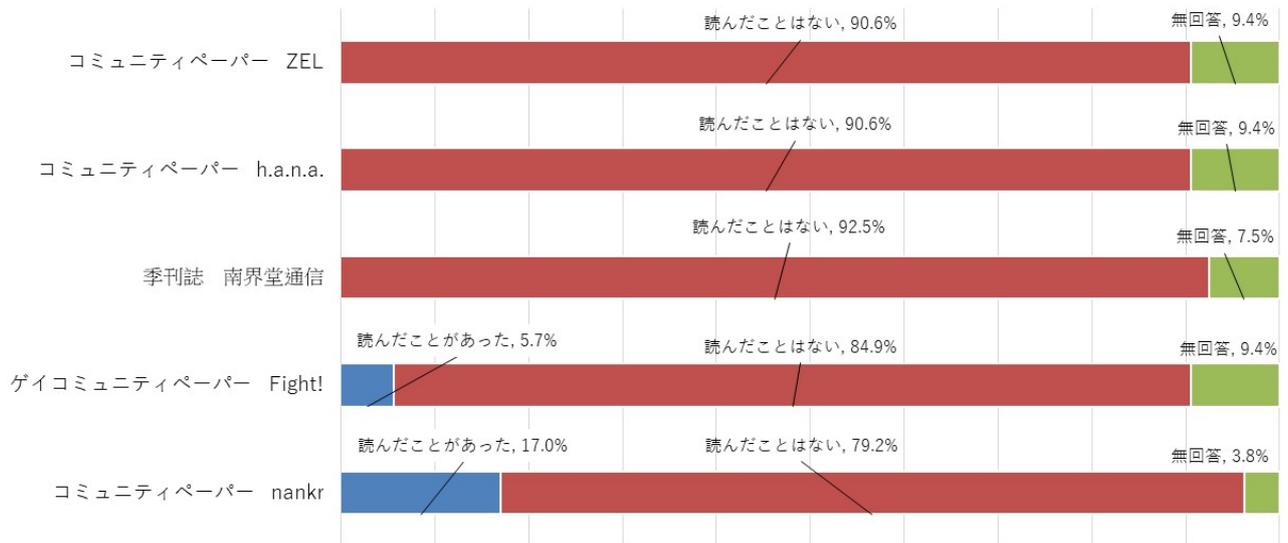
問29. 陽性判明前のセックス時の使用薬物（複数回答）（n=53）



問30. 陽性判明前のコミュニティセンター認知度（n=53）



問31. 陽性判明前のコミュニティペーパー認知度(n=53)



資料1 『健康状況・セクシュアルヘルスに関するアンケート』 調査項目

問1. あなたの年齢を教えてください。

1. 10歳代以下 2. 20歳代 3. 30歳代
4. 40歳代 5. 50歳代 6. 60歳代以上

問2. あなたの自認する性別をお答えください。(1つだけ○)

1. 男 2. 女 3. その他 ()

問3. あなたの住んでいる居住地はどちらですか。

() 都道府県

問4. あなたのセクシュアリティをお答え下さい。(1つだけ☑)

1. 男性同性愛者 (ゲイ) 4. 性同一性障害 (トランスジェンダー)
2. 両性愛者 (バイセクシュアル) 5. その他 ()
3. 異性愛者 (ヘテロセクシュアル)

問5. あなたの現在の職業で最も近いのはどれですか。(1つだけ☑)

1. 公務員、会社員 (正規雇用) 4. 学生
2. パート・アルバイト・契約社員 5. 現在は働いていない
3. 自営業・自由業・経営 6. その他 ()

問6. あなたが HIV 陽性の診断を受けたのは何年ですか? ()年

問7. あなたの HIV 感染が考えられる行為は以下のうちどれですか? (1つだけ☑)

1. 同性間の性交渉 3. 薬物の使用・回し打ち
2. 異性間の性交渉 4. 不明・その他 ()

問8. 感染したと思われるパートナーは以下のうちどれに当てはまりますか? (1つだけ☑)

1. 特定の相手 (彼氏、恋人)
2. 知り合いだが特定ではない相手 (セックスフレンドなど)
3. その場限りのパートナー (一晩だけの相手など)
4. 金銭を介した性交渉 (風俗サービスの利用や援助交際など)
5. その他 ()
6. わからない

問9. 最初に HIV 陽性の告知を受けた機関はどちらですか? (1つだけ☑)

1. 病院 4. 郵送検査・自己検査
2. 医院・クリニック 5. その他 ()
3. 保健所・保健センター

問10. HIV 陽性が判明した検査は、どちらの都道府県で受けましたか?

1. 現在居住の都道府県
2. 現在居住している以外の県 →→差し支えなければ県名をお教えてください ()

HIV 陽性が判明する前のご事情についてお伺いします

★問 15 陽性判明前、あなたは HIV 感染症に対する下記の情報を知っていましたか。(知っているものすべて☑)

1. HIV は精液・血液と粘膜・傷口の接触によって感染する
2. 特にアナルセックスでは HIV の感染リスクが高い
3. HIV はコンドームで防げる

★ 問 16. 陽性判明前に、あなたは自分が HIV に感染する可能性をどのように思っていましたか？

(1つだけ☑)

1. まさか自分が感染すると思っていなかった
2. 感染している可能性はあるが、自分は大丈夫だろうと思っていた
3. いずれ自分も感染するだろうと思っていた

問 17. 陽性判明前に、「HIV に感染していても、治療によって一般の人と同じくらい長く生きることができる」ということをご存知でしたか？ (1つだけ☑)

1. 知っていた
2. 知らなかった

問 18. HIV の治療費について、医療費補助制度があるということをご存知でしたか？ (1つだけ☑)

1. 知っていた
2. 知らなかった

問 19. 陽性判明前にも、HIV 検査を受けたことがありましたか？ (1つだけ☑)

1. あった
2. なかった・・・◆問 21 へ

問 20 検査を受けたことがあった方にお尋ねします。最後の検査機会は、陽性判明前のどれくらい前ですか？ (ひとつだけ☑)

1. 半年前-1年前
2. 1年以上前
3. 2年以上前

◆問 21 陽性判明までに検査を受けたことがなかった方にお聞きします。検査を受けなかった理由は何ですか？ (あてはまるものすべて☑)

1. 面倒だった
2. 時間がなかった
3. 休日に受検できる検査がなかった
4. 検査場所を知らなかった
5. 検査を受けるお金がなかった
6. 結果を知るのが怖かった
7. 感染している可能性がないと思っていた

問 22. あなたは HIV 陽性が判明する前、以下のサイトを知っていましたか？ (知っているサイトに☑)

1. HIV 検査相談マップ 
2. HIV マップ 

問 23 以下のうち、HIV 陽性が判明する前にかかったことのある疾患はありますか？(あてはまるものすべて☑)

- | | |
|--------------------------------------|---|
| 1. <input type="checkbox"/> 梅毒 | 7. <input type="checkbox"/> 淋病 |
| 2. <input type="checkbox"/> 尖圭コンジローマ | 8. <input type="checkbox"/> 赤痢アメーバ |
| 3. <input type="checkbox"/> A 型肝炎 | 9. <input type="checkbox"/> 帯状疱疹 |
| 4. <input type="checkbox"/> B 型肝炎 | 10. <input type="checkbox"/> 繰り返す口内炎 |
| 5. <input type="checkbox"/> C 型肝炎 | 11. <input type="checkbox"/> いずれもない・・・★問 24 へ |
| 6. <input type="checkbox"/> クラミジア感染症 | |

上記の疾患の診断を受けた病院での状況についてお聞きします。

問 23-1) 病院では HIV 検査を勧められましたか？

1. 勧められた
2. 勧められなかった・・・★問 24 へ

問 23-2) 勧められた検査を受けましたか？

1. 受けた
2. 受けなかった

今からプライバシーにかかわることをお聞きします。プライバシーは守られますので、どうかご協力をお願いいたします。男性（同性）との性行為で感染したと思われる方は以下の★問 24 から、異性のパートナーとの性行為で感染したと考えられる方は、◆ 問 32 から回答ください。

陽性が判明する前 1 年間の性行動についてお伺いします。覚えている範囲でお答えください。

★問 24 陽性が判明する前の 1 年間、特定の付き合っている相手（彼氏、恋人、パートナー）との性交渉でコンドームはどのくらい使用していましたか？

1. 特定の相手とセックスはしなかった
2. コンドームを必ず使った
3. 使ったり使わなかったりした
4. 使わなかった
5. 特定相手はいなかった

問 25 陽性が判明する前の 1 年間、友達やセックスフレンド（セクフレ）など、恋人ではない特定の相手とのセックスのときコンドームはどのくらい使いましたか？

1. 友達やセクフレとセックスはしなかった、またはセクフレはいなかった
2. コンドームを必ず使った
3. 使ったり使わなかったりした
4. 使わなかった

問 26 陽性が判明する前の1年間、その場限りの相手とのセックスのときコンドームはどのくらい使いましたか？

- 1. その場限りの相手とセックスはしなかった
- 2. コンドームを必ず使った
- 3. 使ったり使わなかったりした
- 4. 使わなかった

問 27 陽性が判明する前の1年間、その場限りの相手とどこで会いましたか？(あてはまるものすべて)

- 1. 9monsters、Jack'd など位置情報が必要な出会い系アプリ
- 2. 出会い系サイト
- 3. Twitter・LINE などの SNS
- 4. ゲイバー
- 5. 有料のサウナ・ハッテン場
- 6. 野外系のハッテン場 (公園、海岸、トイレなど)
- 7. ハッテン場で有名な銭湯・プールなどの施設
- 8. その他 ()
- 9. その場限りの相手とは出会わなかった

問 28 陽性が判明する前の1年間、下記の施設をどのくらい利用していましたか？

	よく利用した (週1回以上)	まあ 利用した	あまり利用しなかった (半年に2回以下)	全く利用しな かった
1) ゲイバー	<input type="checkbox"/> 1	<input type="checkbox"/> 2	<input type="checkbox"/> 3	<input type="checkbox"/> 4
2) ゲイナイト	<input type="checkbox"/> 1	<input type="checkbox"/> 2	<input type="checkbox"/> 3	<input type="checkbox"/> 4
3) 有料のハッテン場	<input type="checkbox"/> 1	<input type="checkbox"/> 2	<input type="checkbox"/> 3	<input type="checkbox"/> 4
4) 野外のハッテン場	<input type="checkbox"/> 1	<input type="checkbox"/> 2	<input type="checkbox"/> 3	<input type="checkbox"/> 4

問 29 陽性が判明する前の1年間、あなたは下記のことをセックス時に使用したことがありますか？
(あてはまるものすべてに☑)

***回答はすべて厳重に管理され、あなたが特定されたり不利益を受けたりすることは一切ありません。**

- 1. ぼつき薬 (ハイゲラなど)
- 2. 5-MEO-DIPT (ゴメオ・フォーシー)
- 3. その他のセクストラッグ (合ドラや威哥王など)
- 4. マリファナ・コカイン・大麻
- 5. ラッシュ
- 6. スピート・エクスター (MDMA など)
- 7. 静脈注射のドラッグ
- 8. いずれもない

問 30 HIV 陽性が判明する前、あなたは以下のコミュニティセンターを知っていましたか？

1. ZEL
(宮城県仙台市)



1 判明前に行ったことがある
2 知っていたが、行ったことはない
3 知らない

2. akta
(東京都新宿区)



1 判明前に行ったことがある
2 知っていたが、行ったことはない
3 知らない

3. SHIP
(神奈川県横浜市)



1 判明前に行ったことがある
2 知っていたが、行ったことはない
3 知らない

4. rise
(愛知県名古屋市)



1 判明前に行ったことがある
2 知っていたが、行ったことはない
3 知らない

5. dista
(大阪府大阪市)



1 判明前に行ったことがある
2 知っていたが、行ったことはない
3 知らない

6. HACO(福岡県福岡市)



1 判明前に行ったことがある
2 知っていたが、行ったことはない
3 知らない

7. mabui
(沖縄県那覇市)



1 判明前に行ったことがある
2 知っていたが、行ったことはない
3 知らない

問 31. HIV 陽性が判明する前、あなたは次のコミュニティペーパーを知っていましたか？

1. コミュニティペーパー
ZEL



1 読んだことがあった
2 読んだことはない

2. コミュニティペーパー
h. a. n. a.



1 読んだことがあった
2 読んだことはない

3. 季刊誌 南界堂通信



1 読んだことがあった
2 読んだことはない

4. ゲイコミュニティペーパー
Fight!



1 読んだことがあった
2 読んだことはない

5. コミュニティペーパー
nankr



1 読んだことがあった
2 読んだことはない

